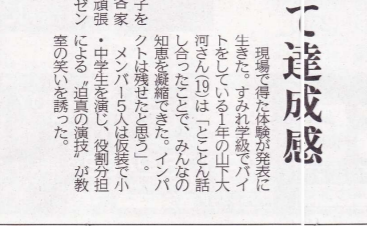
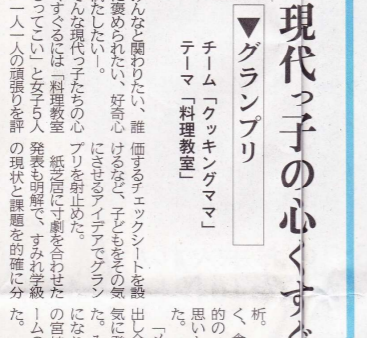
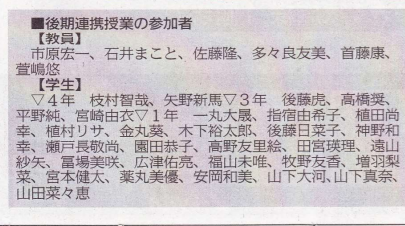
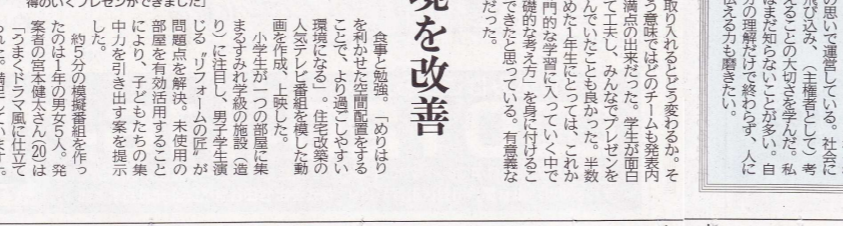


そして社会へ



# 社会に飛び込む大学生



## 「子ども食堂」で体験型の主権者教育実践

### 地道で手探りの取り組み 「どう改善」議論深め

「子ども食堂」は地域の住み手と子どもが交流する場。大分県では、県民生活の向上と地域社会の活性化を目的として、子ども食堂を推進している。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。

昨年4月にスタートした大分県「子ども食堂」は、県民生活の向上と地域社会の活性化を目的として、子ども食堂を推進している。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。

子ども食堂の推進は、地域社会の活性化と子どもの成長を促す重要な取り組みである。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。

子ども食堂の推進は、地域社会の活性化と子どもの成長を促す重要な取り組みである。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。大分県は、子ども食堂の推進を推進している。

## 後期連携授業の主な取り組み

- 2016年10月
    - 10日 授業始まる(水曜の5限) 1~4年の男子12人、女子18人が受講
    - 12日 新聞記者2人とカメラマンが講義 新聞社の役割、報道の在り方について学ぶ
    - 19日 「子ども食堂」の現場責任者に聞く ずみれ学級(大分市)の榎田雅文さんが説明
    - 28日 教室を飛び出し、地域へ 受講生が2~3人ずつに分かれて現場体験
    - 11月 すみれ学級で活動 フィールドワーク 計12日間で30人全員が参加。居場所づくりを考えた
    - 12月 「金池子ども食堂」(大分市)で交流 男女5人が参加。地元の子や高齢者と触れ合った
    - 14日 キーノート(事前学習) 県社協の関係者が子ども食堂について講話
    - 15日 豊後高田市「子ども食堂」で体験 男女4人が参加。県内唯一の「官民連携方式」の取り組みを学ぶ
    - 18日 子ども食堂「ふくふく」(白河市)を訪問 男女5人が参加。一緒に食卓を囲み、クイズなどを楽しんだ
    - 20日 グループワーク 6チームに分かれ、すみれ学級の改善案を検討
    - 17年1月 11日 中津子ども食堂「夢」で活動 男女4人が参加。宿題を教え、ダンスやラップなどで交流
    - 30日 2巡目のフィールドワークへ 計7日間で14人が参加
    - 2月 1日 最後の授業でプレゼン 6チームが「理想の子ども食堂の過ごし方」を提案
- ※授業は毎週水曜午後4時~6時に実施

## 自分への問いとして考えて

### 子ども食堂の在り方について講話する県社協の塩崎政士さん

子ども食堂の在り方について講話する県社協の塩崎政士さん。塩崎さんは、子ども食堂の在り方について講話する。塩崎さんは、子ども食堂の在り方について講話する。

## 最後の授業でプレゼン

「子ども食堂」の現場責任者に聞く。ずみれ学級(大分市)の榎田雅文さんが説明。

## 現代っ子の心くすぐる

### ▼グループ

#### チーム「クッキングママ」

「ママ」金丸さん、児童をみながら、誰かの笑顔を出したい。協力し合える。みんなの心をくすぐる。みんなの心をくすぐる。

## リフォームで環境を改善

### ▼努力賞

#### チーム「減縮・ビフォーアフター」

「思ったことを伝えられた。納得のいくプレゼンができた。」

## スタンプをためて達成感

### ▼アイデア賞

#### チーム「勉強強い」

#### チーム「たすけてトナレもん」

「勉強を頑張る。下を贈る。子どもの様子を見る。その学級通信に記し、各家庭の目的を達成。目標に記し、みんなの目標。みんなの目標。みんなの目標。」

## 後期連携授業の参加者

【教員】市原宏一、石井まこと、佐藤隆、多々良友美、首藤麻、堂嶋悠

【学生】▽4年 枝村智哉、矢野新馬▽3年 後藤虎、高橋英、平野純、宮崎由衣▽1年 一丸大風、指宿由希子、植田尚幸、植村リサ、金丸菜、木下裕太郎、後藤日菜子、神野和幸、瀬戸長敬尚、園田隼子、高野友理絵、田宮瑛理、通山紗矢、富場美咲、広津佑亮、福山未唯、牧野友香、増羽梨菜、宮本健太、葉久美優、安岡和美、山下大河、山下真菜、山田菜々恵